

**生物生産科学特論実験** (2単位)

担当者氏名 弦間洋・夏秋啓子・志和地弘信・中西康博・小塩海平・足達太郎・入江憲治・田中信行

## ◆学習・教育目標

本特論実験では、生物生産科学に関わる各自の研究テーマにもとづいて必要な実験計画を立案し、各種の実験技術を習得して、実験を行うとともに、実験によって得られた結果を、生物測定ならびに統計解析の手法をも援用して解析、とりまとめる。また、研究の遂行に必要な機器、機材および薬品の取り扱いについて習熟し、危険物の取り扱いやISOについても理解を含める。

## ◆取り扱う領域(キーワードで記載)

熱帯作物学 \_\_\_\_\_ 熱帯園芸学 \_\_\_\_\_ 熱帯作物保護学 \_\_\_\_\_ 農業環境科学 \_\_\_\_\_  
 統計学 \_\_\_\_\_

## ◆授業の進行等について

	テーマ	内容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	実験計画論	各自の研究テーマに基づき、必要な実験を計画する。	自身の実験の仮説、得られたデータを使った分析およびまとめをおこなっておくこと。
2	第1週～第2週 実験技術の修得	必要な実験技術を習得する。	
3	第3週～第8週	研究の遂行に必要な物品の取り扱い( ICP-AES 分析、土壌簡易分析、HPLC 分析など)とISO教育訓練に参加する。	
4	機器の取り扱い		
5			
6			
7			
8	第9週実験技術の習熟		
9	第10週～第13週 実験結果の解析		
10			
11			
12			
13	第14週～第15週	実験結果は生物統計学などを援用して解析する。	
14			
15			

## ◆教科書及び資料(授業前に読んでおくべき本・資料)

書名/著者/発行所(発行年)

統計解析と実験計画/藤巻宏/養賢堂(2002)

## ◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名/著者/発行所(発行年)

## ◆評価の方法(レポート・小テスト・試験・課題等のウエイト)

定期的な実験成果の報告と、実験ノートへの記帳を前提とする

## ◆その他受講上の注意事項